

石川県から全国の企業へ! CLOUDIAN HyperStore が支える 安全・安心・安価なバックアップ

石川県金沢市に本拠地を構える石川コンピュータ・センター（ICC）は、2014年7月より、「ICCクラウド」の共通ソリューション（SaaS）である「BCP リモートバックアップサービス」の提供を開始している。そのストレージ基盤には、クラウドストレージの事実上の標準である S3 API に完全準拠し、汎用サーバ2台（推奨3台）からスタートできる SDS（ソフトウェア定義のストレージ）というメリットを高く評価し、「CLOUDIAN HyperStore」を採用した。

ネットワークに特色あり ICC のクラウドサービス

石川県金沢市に本拠地を構える石川コンピュータ・センター（ICC）は、石川県内のみならず、全国へ各種 IT ソリューションを提供する情報サービス事業者である。創業当初の受託開発からスタートしている「自治体ソリューション」のほか、病院向けの「医療機関ソリューション」や一般企業向けの「民間ソリューション」



株式会社石川コンピュータ・センター 執行役員 クラウドビジネス本部長

福野 幸以知氏

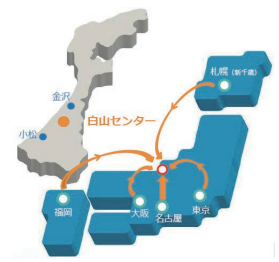
「セキュリティソリューション」「アウトソーシングサービス」など幅広くサービスを展開している。昨今、同社が特に注力しているのがクラウド分野だ。従来からのデータソリューションサービスをより充実させるため、金沢データセンターに加え、隣接する白山市に300ラックを収容するデータセンターを2012年に新たに建設し、クラウドサービス「ICCクラウド」の提供を開始した。

同社 執行役員 クラウドビジネス本部長の福野幸以知氏は、「白山センターの設立は、東日本大震災前から計画されていたものですが、震災を受けて設計を一からやり直し、より強固な施設として生まれた施設です。また白山センターは、全国都市部からのアクセスが容易で、地震や津波の危険性が低い堅牢な『日本海側』に位置しています。DRやBCPの観点から、東日本だけでなく全国の企業にも注目されています」と述べる。

この注目の背景には、白山センターのサービスが優良なだけでなく、JQA（日本品質保証機構）から認められた「情報セキュリティ適合証」など厳しい安全基準をクリアしていることがあげられる。また、「LGWAN-ASP サービス提供事業者」として登録されてお



白山センター



全国各地からのアクセスも容易

り、全国に張り巡らされた LGWAN（総合行政ネットワーク：Local Government Wide Area Network）を利用して、安全なサービスを全国の自治体に提供できる事業者として認定されているということも強みの1つである。ICCクラウドでは、こうしたインフラを通じて、ソリューション開発で培ってきたノウハウをクラウドサービスに生かし、「自治体向けクラウド」「医療向けクラウド」「民間向けクラウド」のほか、基盤ソリューション（IaaS）や共通ソリューション（SaaS）を提供している。

北陸発のバックアップサービスを 全国の企業に届けたい

ICCクラウドの SaaS の中でも、2014年7月に正式リリースしたばかりの新しいサービスである「BCP リモートバックアップサービス」に注目したい。本サービスは、ICCクラウドのストレージへデータをバックアップできるサービスである。最大の特長は、上述した LGWAN や VPN をアクセス回線として選択することが可能であることだ。同営業企画課 課長の東村善隆氏は、「当社の柔軟なネットワークサービス



同社 クラウドビジネス本部 営業推進部 営業企画課 課長

東村 善隆氏

を活用し、経路上の安全性を確保しつつ、全国から安全な北陸の地へ手軽にデータを預けることができます。一般のバックアップツールを

使えるのも特長の1つで、安価にDRやBCP対応を開始できることから、中小企業のユーザーにもオススメです」と自信を見せる。



同営業企画課 エキスパート

境谷 賢治氏

そこで、このバックアップサービスを提供するにあたって、基盤技術として選択されたのが、オブジェクトストレージソフトウェアの「CLOUDIAN HyperStore」である。もともと会社では、バックアップを個別の案件として受注しており、手間や工数が肥大化してしまうのが課題であった。同営業企画課 エキスパートの境谷賢治氏によれば、「中小企業でも気軽に利用できるサービス」を目指して、CLOUDIAN HyperStore を選択したという。境谷氏は当初、一般のバックアップツールを活用してサービスとして提供することを考えた。しかし、導入や運用の負荷に関する懸念点や、導入に際してお客様の環境に変更を強いてしまうという問題も発生する。そもそも、ユーザーごとのバックアップに対する要件は異なるため、手法を限定してしまうことに抵抗があった。

また、同社サービスの差別化要因でもあるL2WANは、セキュアなネットワークを維持するため、通信プロトコルが限定されており、バックアップツールで使用されることの多い独自プロトコルを利用することができなかった。「CLOUDIAN HyperStoreは、業界標準とも言えるAmazon S3に準拠しており、さまざまなアプリケーションに対応します。また標準的なHTTP/HTTPSを用いているためL2WANでも問題なくアクセスできます。当社の顧客は自治体や医療、製造などと幅広く、それぞれの業界に特有のアプリケーションや運用、ガイドラインなどが存在しますが、CLOUDIAN HyperStoreは多様な環境を受け止めることができる“器”になり得ます」と境谷氏は強調する。

CLOUDIAN HyperStore によって実現した安全・安心・安価なサービス

同課の犬塚義博氏は、さっそくCLOUDIAN HyperStoreの評価版を入手し、ひと通りの操作を試してみることにした。そして企画どおりの機能が利用できることがわかると、クラウドの担当者に話を聞き、

ハンズオンセミナーに参加することで、導入へと歩みを早めた。企画を立案した2013年10月から、1年を待たずにサービスを実現できた。

「CLOUDIAN HyperStoreは、他のオブジェクトストレージソリューションとは異なり、比較的小さなストレージ容量からスタートすることが可能です。汎用サーバを追加するだけで容易に拡張し、可用性を高めていくことができます。まずは中小企業をメインターゲットに始めていますが、どんどん拡大していきたいですね」(犬塚氏)

さらに本サービスでは、専任のエンジニアを確保できない中小企業でも容易にバックアップを活用できるよう、アイ・オー・データ機器が提供するNAS製品「HDL-XRWシリーズ」「HDL2-Hシリーズ」「HDL6-Hシリーズ」を組み合わせるソリューションサービスも展開している。同シリーズは、CLOUDIAN HyperStoreとの相互接続性が公式認定されているNASである。通常ファイルサーバと同様に、単純にファイル



同営業企画課

犬塚 義博氏

を格納するだけで、自動的にCLOUDIAN HyperStore (ICCクラウド)へバックアップデータを保存できるようになる。

「DRやBCPへの関心は高くても、知識や技術、人員が不足している企業は多く、実現は容易ではありません。ICCクラウドのBCPバックアップサービスを活用すれば、複雑な運用は不要で、意識せずにIT-BCP対策を実践できます。顧客や取引先に対してもデータ保全の責任を果たせますし、監査機関にも健全な運用をアピールすることができます」(福野氏)

今後、石川コンピュータ・センターでは、各種ソリューションとの連携や、仮想サーバサービスのストレージとして活用するなど、CLOUDIAN HyperStoreの活用範囲を広げる商品を企画していきたいとしている。CLOUDIAN HyperStoreによるクラウドストレージをキラーサービスとして、全国のお客様へ、効率のよい安心と安全を提供したいと考えている。



株式会社
石川コンピュータ・センター

石川コンピュータ・センターは時代のニーズに応じたソフトウェア開発、情報処理、ネットワーク・ソリューション、メンテナンス、アウトソーシングなど、幅広い領域で活動してきました。情報サービス企業として、創造的・先進的で高品質なシステムソリューションの提供を通じて地域社会の情報化促進に努めております。
ホームページ：http://www.icc-idc.jp/

クラウドファンディングについて

日本と米国を開発拠点とするクラウドファンディングは、パブリッククラウド、プライベートクラウド、オンプレミス環境でハイブリッドに活用できるSDS (Software Defined Storage: ソフトウェア定義ストレージ) である「Cloudian HyperStore」をソフトウェア製品及びアプライアンス製品により提供しています。国内外大手プロバイダー、エンタープライズが採用するCloudian HyperStoreは、複数データセンター間を含み、データ複製・分散配置によるデータ保護をしながら、汎用サーバ2台からペタバイト超級にまで経済的に、柔軟にスケールアウトします。統計・課金・管理機能も実装済みであり短期間に利用開始できます。



クラウドファンディング株式会社

www.cloudian.jp | info@cloudian.com